令和５年度

０歳児年間指導計画

認定こども園あおがき

年間目標	
年間目標	○保健的で安全な環境のなかで生命の保持と情緒の安定を図る。 ○保育教諭との応答的なかかわりの中で、スキンシップを十分に取りながら信頼関係を築く。 ○一人ひとりに合わせて生理的欲求を満たしながら健康的な生活リズムを確立し、快適に過ごせるようにする。 ○個人差に配慮し、離乳の完成や歩行・ことばの発達を促し、周りの物への興味・関心を育てる。

月　齢	産休明け～６か月未満	６か月～９か月未満	９か月～１歳未満	１歳～１歳３か月未満	１歳３か月～1歳 11 か月
子どもの姿（発達の状況）	・授乳のリズムが徐々に安定してくる。 ・おむつが汚れたときは泣き、取り替えると泣き止む。 ・眠っている時間が多く、短い眠りを繰り返し徐々にリズムが安定してくる。 ・首がすわり寝返りをしはじめる。 ・目の前で動くものを目で追ったり、音のする方へ顔を向けたりする。 ・あやされると微笑んだりバタバタ手足を動かす。 ・「あー」「うー」などの声を発する。	・離乳食を食べ始める。 ・時にはおむつ交換を嫌がる時もある。 ・睡眠は午前と午後の２回寝になってくる。 ・寝返り、ハイハイ、お座りの姿勢で遊ぶ。 ・手を伸ばしたり、ふれた物を口に持っていったり、持ちかえたりする。 ・後追いや人見知りが始まる。 ・「マンマン」などの喃語を発する。	・離乳食が３回食に進み、食べ物に自分から手を出すようになる。 ・排泄の間隔が長くなり始める。 ・２回寝から１回寝に移行する。 ・ハイハイ、つかまり立ち、伝い歩きなど移動運動が活発になる。 ・両手で物を投げたり拾ったりする。 ・友だちに関心を示し持っているものを欲しがる。 ・自分の名前を呼ばれると分かるようになる。	・スプーンやフォークで食べようとしたりコップを持とうとしたりする。 ・おむつが濡れていない時におまるに誘うと座ろうとする。 ・睡眠時間が一定になる。 ・一人で立ち上がり歩いてみようとする。 ・つまむ、めくる、はがすなど手指を使って遊ぶ。 ・保育教諭とのやりとりやふれあって遊ぶことを喜ぶ。 ・指さしが盛んになるとともに、簡単な単語が言え、保育教諭の言うことも分かるようになる。	・離乳食が完了し幼児食を食べる。 ・排泄後、動作や言葉で知らせたり、おまる（トイレ）に誘うと排泄したりする。 ・睡眠時間が一定して、午後１回になる。 ・歩行が安定し、探索の範囲が広がる。 ・積み木を積んだり、なぐり描きをしたりする。 ・保育教諭の仲立ちで友だちと一緒に遊ぶ。 ・「マンマ・ホチイ」など言葉が増え、二語文を話すようになる。
ねらい	・一人ひとりの様子を把握し、園生活に無理なく慣れていけるようにする。 ・外気にふれる心地良さやのびのびと手足を動かす楽しさを味わう。	・一人ひとりの発達や個人差を重視して、育ちを促せるようにかかわる。 ・手足や身体に心地良く触れたり、優しい言葉かけにより、喃語を発することを楽しむ。	・生理的な要求を十分に満たし体調、機嫌の状態に留意して生活のリズムを整えていく。 ・安全に配慮してもらいながら身体を十分に動かすことを楽しむ。	・一人ひとりの体調に気を配り、清潔で快適に過ごせるようにする。 ・積極的に戸外に出ていろいろな素材に触れ、興味を持って遊ぶことを楽しむ。	・自分でやってみようという気持ちを受け止め、援助しながら満足感が得られるようにする。 ・探索活動を通して、いろいろな人や物にふれ「楽しい」経験をし、遊びや人への関心を広げる。
内容（からだ・こころ・人との関わり）	・一人ひとりの生活リズムに応じ、家庭と同じような状態にし、無理なく新しい生活に移行できるようにする。 ・一人ひとりに応じて授乳を行い、優しく語りかけながら飲めるようにする。 ・おむつが汚れていたら、優しく声をかけながらこまめに取り替え、気持ち良さを感じるようにする。 ・一人ひとりの体調や生活リズムに合わせて外気浴をし、心地良さを味わうようにする。 ・スキンシップを大切にし、話しかけたり身体に触れたりしながら安心して過ごせるようにする。 ・感覚を刺激するような音の出る玩具や感触の良いものを用意し、楽しさを感じられるようにする。	・体調や発育状態に応じ、一人ひとりにあった離乳食を食べられるようにする。 ・介助されながら顔を拭いたり、手を洗ったりして、気持ち良さが分かる。 ・静かな環境の下、一定時間ぐっすりと眠れるようにする。 ・腹ばいや支え座りで遊ぶ機会を作り、視野が広がるようにする。 ・「いないいないばあー」など、保育教諭と向き合う遊びや身体を動かす遊びの楽しさを知る。 ・衛生的な玩具を整え、目で追ったり、手で持ったりすることで、手と目の協応を促すように努める。 ・人見知り、甘えなどを受けとめてもらい、安心して遊ぶ。	・「もぐもぐ」「おいしいね」など優しく言葉をかけながら自分で食べる意欲を持てるようにする。 ・睡眠時間が定まり、安心してぐっすり眠ろうとする。 ・子どもの思いを言葉にするなど、応答を大切にして喃語や発語を豊かにする。 ・ハイハイ等で十分遊べるように誘いかけ、腕から背筋力が養われるようにする。 ・動きやすい安全な環境のなか、つかまり立ちや伝い歩きなどで探索活動が十分にできるようにする。 ・遊びを通して、取る、持つ、置くなどの一般的な動作が発達するよう取り組む。	・食事への意欲を大切にし、スプーンやフォークを使って食べてみようとする。 ・戸外で水・砂・石・泥や落ち葉などの自然物に触れて遊ぶ。 ・手遊び、リズム遊び、絵本などを通して、五感の発達を促し、楽しめるようにする。 ・つまむ、めくるなど指先を使った遊びを多く取り入れて楽しむ。 ・好奇心に導かれて探索することが多くなり、いろいろな経験をする楽しさを知る。 ・指さしや言葉を丁寧に受け止め、ゆっくりと優しく答えてもらうことに喜びを持つ。	・自分で食べたいという気持ちを大切にし、食べることを楽しめるようにする。 ・登る、降りる、跳ぶ、くぐる、押す、引っ張るなどの運動を取り入れた遊びの楽しさや、友だちとかかわって遊ぶ楽しさを知る。 ・場面に合わせて表情豊かに語りかけ、言葉の基礎を培っていけるようにする。 ・担任以外の保育教諭や異年齢児との交流の場に喜んで参加する。 ・行動範囲が広がり好奇心が旺盛になるので、安全に配慮した中で、見たり、ふれたり、試したりすることに喜びを持つ。

期	Ⅰ期（4～5 月）	Ⅱ期（6～8 月）	Ⅲ期（9～12 月）	Ⅳ期（1～3 月）
期のねらい	・一人ひとりに十分にかかわりながら、安定して過ごせるように環境を整える。 ・家庭での生活と園での生活の連携を取りながら、無理なく園生活に慣れるようにする。 ・戸外に出て開放感を味わい安心して過ごせるようにする。	・梅雨期、夏期の健康状態を把握し安全面、衛生面に留意しながら快適に過ごせるようにする。 ・愛情豊かな受容とかかわりの中で、ふれあい遊びを十分に楽しめるようにする。 ・清潔な環境の中で、沐浴や水遊びなどを楽しみ、気持ちよく過ごせるようにする。	・気温や体調に留意し、なるべく薄着を心がけ元気に過ごせるようにする。 ・信頼する保育教諭とふれあいながらその仲立ちにより、他児とのかかわりを楽しむ。 ・自然にふれながら、戸外遊びや散歩を楽しむ。	・一人ひとりの健康状態に応じ、室温や衣類の調節に配慮し、外気に触れる機会を持ち、無理のないように丈夫な体作りを目指す。 ・子ども同士がふれあって遊んだり、いろいろな遊びを楽しむ。 ・１歳児クラスの生活リズムへと移行できるようにする。
家庭とともに	・連絡帳や送迎の時間を通して、子どもの様子を伝え、成長を確認しあう。　・健康面・アレルギー・家庭での過ごし方や園生活の様子について共通理解をする。　・感染症予防について情報提供をする。 ・保育教諭とのかかわりを大切にし、子育ての悩みや疑問などを受けとめ、共感していく中で信頼関係を築いていく。　・心身の状態や生活リズムを基本に、離乳を進めていく。　・参観や園内行事を活用し、保護者同士のかかわりを深める。			